



令和5年10月17日
九州地方整備局

「令和6年度 発注者支援業務等の発注における技術提案評価テーマ（留意点）」の事前公表について

翌年4月から履行を開始する発注者支援業務等（発注者支援業務、公物管理補助業務、用地補償総合技術業務）の発注手続き期間は、土木コンサルタント等業界の繁忙期と重なっており、中でも入札公告から技術提案書提出までは、年末年始を跨ぐ期間となります。

これらの状況を踏まえ九州地方整備局では、下記のとおり、令和6年度発注者支援業務等の技術提案評価テーマ（留意点）を事前に公表して技術提案書の検討期間を拡大し、各社の入札参加意欲の向上による競争性の確保、技術提案内容のさらなる充実化及び各社の負担軽減を図ります。

記

1. 対象業務

令和6年4月に履行を開始する九州地方整備局発注の以下の業務（港湾空港関係業務を除く）

- 発注者支援業務【積算技術、工事監督支援、技術審査】
- 公物管理補助業務【道路許認可審査・適正化指導、河川巡視、河川許認可審査、ダム管理、堰・排水機場管理】

2. 技術提案評価テーマ（留意点） 別添一覧表のとおり

【問い合わせ先】

九州地方整備局 代表電話番号：092-471-6331
直通電話番号：092-476-3546

九州地方整備局	企画部	技術開発調整官	コバヤシ 小林	ヒデノリ 秀典（内線：3120）
		技術管理課長	フジワラ 藤原	フミタケ 史武（内線：3311）
		技術管理課	課長補佐	マツシタ ケンジ 松下 憲司（内線：3314）

令和6年度 発注者支援業務等の技術提案評価テーマ(留意点)

業務種別	R6年度	
	留意点	判断基準
河川巡視支援業務	業務対象河川の特性を踏まえた効果的・効率的な河川巡視の実施方法について	<p>《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。</p> <p>《実現性》 河川特性を踏まえた具体的な河川巡視の実施方法について、提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。</p>
河川許認可審査支援業務	申請書を受理してから適切な期間で審査を遅延なく完了させるための取り組みについて	<p>《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。</p> <p>《実現性》 各種申請書等の審査するための取り組み(組織体制(バックアップ体制)・人材育成等)について、具体的で説得力がある場合に優位に評価する。</p>
ダム管理支援業務	業務対象ダムの災害時(洪水時、地震時等)における的確な業務の実施(情報伝達含む)と体制確保に関する取り組みについて	<p>《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅され、優れている場合に優位に評価する。</p> <p>《実現性》 災害時(洪水時、地震時)における的確な業務実施のための具体的な取り組み(実施内容、情報伝達、組織体制(バックアップ体制・人材育成等))について、提案内容に説得力がある場合に、優位に評価する。</p>
排水機場管理支援業務 堰管理支援業務	出水時における設備トラブルなど緊急的な対応が必要となる場合の適切な管理手法について	<p>《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。</p> <p>《実現性》 緊急的な対応が必要となる場合の適切な管理手法について、具体的で説得力がある場合に優位に評価する。</p>
道路許認可審査・適正化指導業務	申請にかかる事務処理を効率的に行うための取り組みについて	<p>《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点・問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。</p> <p>《実現性》 関係する法令に基づいて事務処理を行うにあたり、適切、効率かつ迅速に実施するための取り組みについて記載されている場合に優位に評価する。</p>
道路許認可審査・適正化指導業務 【特殊車両審査関係】	特殊車両通行許可に関する事務担当者のスキルを考慮した事務処理能力向上のための具体的な工夫及び実施体制について	<p>《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点・問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。</p> <p>《実現性》 事務担当者の経験実績による能力差を考慮し、事務処理能力を向上させるために、受注者として取り組む工夫及び実施体制が具体的に記載され、提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。</p>
積算技術業務	働き方改革への対応と積算の品質確保を両立させるための具体的な取り組みについて	<p>《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。</p> <p>《実現性》 働き方改革への対応と積算の品質確保を両立させるための具体的な取り組みについて、提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。</p>
技術審査業務	審査ミスの回避及び提案内容の妥当性を適切に判断するための実施方法について	<p>《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。</p> <p>《実現性》 審査ミスの回避及び提案内容の妥当性を適切に判断するための実施方法について、提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。</p>
工事監督支援業務 A	働き方改革への対応として発注者及び施工者等と連携し円滑に業務遂行するための具体的な工夫について	<p>《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。</p> <p>《実現性》 働き方改革への対応として発注者及び施工者等と連携し円滑に業務遂行するための具体的な工夫について、提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。</p>
工事監督支援業務 B	公衆災害及び工事関係者の事故を未然に防止するための取り組みについて	<p>《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。</p> <p>《実現性》 公衆災害及び工事関係者の事故を未然に防止するための取り組みについて、提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。</p>

※工事監督支援業務については、発注者が入札公告時に2テーマの中から任意に設定する。